

## 見積書作成後に変更した積算データを反映させたい

### 操作方法

#### 積算データを変更した場合

- 1) 拾い出し入力を変更した場合は、拾い出し集計を行います。
- 2) ロス率・単価の設定があれば行います。
- 3) 塗装、溶接データを連動する経費があれば印刷集計を行います。
- 4) 材料明細入力で変更した区分のロス率・単価データの再読込を行います。
- 5) 見積明細入力で変更した内訳工事の経費の再読込を行います。

#### 積算の区分を追加した場合(見積明細にも同じ区分を追加する場合)

- 1) 見積明細入力で内訳工事の明細行を追加します。
- 2) 材料明細入力で<編集>-<本体内訳区分設定>を開き、1)で追加した内訳工事に追加した積算区分の材料を読み込みます。
- 3) 見積明細入力で追加した内訳工事の経費を入力します。

#### 積算の区分を追加した場合(見積明細の既存の内訳の材料に合算する場合)

- 1) 材料明細入力で<編集>-<本体内訳区分設定>を開き、材料を追加する内訳工事に追加した積算の区分の材料を読み込みます。
- 2) 見積明細入力で材料を読み込んだ内訳工事の経費の再読込を行います。